

〈新資料〉坂口安吾他・座談会「世相放談」：『定本坂口安吾全集』未収録資料

花田，俊典
福岡女子大学助教授

<https://doi.org/10.15017/10479>

出版情報：花田俊典教授著作集．14，pp.38-49，1984-06-15．文献探究の会
バージョン：
権利関係：



〈新資料〉坂口安吾他・座談会「世相放談」

『定本坂口安吾全集』未収録資料

冬樹社版『定本坂口安吾全集』（全13巻）未収録作品は、まだ少なからずあると見ておく必要があるのだろう。

ここに紹介する座談会「世相放談」は、いわゆるカストリ雑誌のひとつ、「モダンロマンス」第二巻第三号（昭和26年2月1日発行、モダンロマンス社、B6版、定価90円）に掲載のもの。

同誌には座談会のほか、高見順「無国籍者」、広津和郎「めぐりあひ」などの短篇小説や、舟橋聖一「女の目ざめ」、田村泰次郎「都会の白鳥」などの連載小説が載っている。

座談会の内容については、とりたてて述べておきたいことはない。安吾の発言に関しても、当時の他のエッセイ等で語られていることと大差はないが、ただ、座談会であるがゆえ、なまの声に近いものがうかがえて、ときに有効に利用できそう。

ちなみに全集未収録作品は、これまでに関井光男や若月忠信によって紹介されたものがある（「カイエ」昭54・7、「国文学」昭54・12、「新潟大学国文学会誌」26、昭58・2）し、筆者もまた、本誌1号と7号で紹介しておいた。「東京新聞」紙上のコラム「大波小波」を集成した小田切進編「大波小波・匿名批評にみる昭和文学史」第一巻（東京新聞出版局、昭54・3）にも安吾文がいくつか見えている。全集未収録の安吾書簡もいくつか出てきたし、もはや冬樹社版全集だけでは済まなくなってきたと言わねばならない。

なお、本資料をここに紹介するに際して末吉喜美子氏のお世話になった。また、旧漢字は新漢字に改めた。



★自殺? 他殺?
★絶対に死刑だ
★巡査・ボス・競輪
★場末のゲイジツ
★チャタレイ夫人と性慾

—— 出 席 者 ——
坂口安吾
宮田重雄
市川紅梅
小野佐世男
久米正雄
堀崎繁喜

花田俊典

久米 この座談会は、つまり、坂口君の例の「安吾巻談」というのを座談会形式にして、いろいろ問題を捉まえ、縦横に掘り上げてみようという趣旨の試みなので、今日はい警視庁の堀崎さんに出ていただいて、犯罪の問題をとりあげ、それぞれの立場から大いにお話を願いたいと思うのです。

坂口 堀崎さん、職務がう、沢山喋れないでしようね。

堀崎 私は今度予備役になったのですよ。捜査一課長を代わりまして今度仕事の向きが変ったものですから……
久米 受持が変ったのですか。

堀崎 はあ……。もともと喋ろうとしても喋り下手な性質でもありますし、またいろいろ立場がありますから、御満足の行くようなことはできないと思えますが、しかしながら、できるだけ私どもの

仕事のことを理解して頂き度い気持ちでありますから、あなた方も、むしろこの点をききたいということもありませんようから、出来るだけのことは承りましますよ。

自殺？ 他殺？

久米 堀崎さんは、自殺派だね。下山総裁自殺派だね。

堀崎 あれは、私……

久米 これを第一にとり上げるのはどうか。……あれは去年だから、年を越しているね、しかし面白いな、一つははじめよう、どうです、なんとかあなた警視庁の立場から……

堀崎 まあ下山事件は私が課長のときにやつて未だ結論を出さないうで代つたのですがどうも結論ということになると、私、申上げる立場ではないのです。たゞ皆さん方のお考えをきくことは差支えないですがね。

久米 それでどうですか、あ、いうように各新聞に自殺派、他殺派とあるのですが。

堀崎 それはまあそれとして、私の方は一つの事実を積んで行くというだけですね。

坂口 久米さんは、他殺？ 自殺？

久米 僕は、これは事実だけしかい、得ないけれども、改造、文芸春秋に出たいろいろな捜査報告ね、あれを仔細に読んだよ、それでいろいろ考るところがあつたが、僕は下山総裁なら自殺する。自殺して不思議は一つもない、その点について僕は警視庁の意見に賛成だ。

坂口 いや、そういうこともはつきりいえないよ。

久米 そしたら今度中央公論十二月号に誰か書いたね、朝日の記

看だつたかね、それと今日あたりいろいろな新聞が自殺を支持しているね。

坂口 それはわからんですよ、あれは下山総裁のスボンのなかに糠みいたものがついてたというが歩いたかも知れないですね。僕自身、鬱病になって、病院に入ったことがあるが、よくわかるよ。自殺であることは、はつきりしているね、他殺ということも否定できないよ、そういう証拠がどこにもないのだから……あめいっ状態になると、あらゆるところを動き回るよ、分らないよ。疲労困憊したあげく、あ、いうことになつただけじゃないかと思えますね。

久米 糠のあるところに休んだかも知れないしね。

坂口 計画犯罪ということは考えられないのだよ、計画犯罪なりとすれば、ひとつにたつかまえられることはありますね、身の物がなにも減つていないのだね、時計でも金でもみなとられていない。

久米 眼鏡が変つていっているというのは、どういうわけ？

坂口 それは今朝の新聞で、はじめてみたのですよ、本当の事実ですか？

堀崎 眼鏡がないのですよ。

坂口 なくなつていたのですか？ なくなつていたのならおかしくないね、眼鏡なんか、なくすものだからね、今朝の新聞はそうじゃないですよ、他の眼鏡がおつこつていたということを書いてある。

堀崎 その所有者がわかつたのですよ……どうも私、フリ込まれて、深みへ入りそうですね（笑声）この事件は、触れて頂かん方が気が楽なんですがね。

久米 しかし、そこが狙いですよ、悪いね（笑声）

堀崎 ほかのことなら……これは……

久米 でも、遠慮しちやつたらしようがないじゃないか。

坂口 いや、当り前ですよ、未検挙の事件はね。

市川 私は自殺説をいう人があると臆が立ちますね、絶対他殺です
ね。

堀崎 目の前で、そういわれると非常に不都合悪いですね(笑声)
いじめられているような気がしますね(笑声)

坂口 あの人の、あの前後の言動からしますと、筋がわかるじや
ない? 大学教授とか、なんでもそういう責任と地位の人間は、みん
な氣違いに近いですよ、みなメランコリーですよ、人間の職業上か
ら来る、責任感から来るメランコリーは非常にありますよ、ほとん
ど氣違いに近いもので、発狂していますよ。

久米 それよりも、あ、いう地位にいて、自殺しないということ
が不思議だと思つて位ですよ、僕など……

坂口 そういふ、方もおかしいですよ。

宮田 久米さん、はじめから自殺説?

久米 まあ、おれはあ、いうものを見ると、こういふふうを考える
のだ、自分は自殺したいのだ、そしてさまよつていた。

坂口 なかく自殺出来ないよ、僕もなんべんも自殺しようとし
ましたが、できるものじやありませんよ。

久米 だからそれに外力が加わつて、つまり自殺しようとい……

坂口 自殺するには、自殺するような原因があるのですよ、下山
さんにはあるのですよ、四面楚歌で自殺にもつて行く非常に大きな
原動力があるのですよ。

宮田 実は私は慶應の中館は同級なんです、あれは完全な自殺説
をとなえているのですよ。

坂口 彼の説はインチキですよ、自分は見ておらんのだからね。

宮田 なんとか反応とかで、自殺説なんですが、それで僕は他殺
説に傾いたのです。

坂口 最初に座談会をやつたのが彼ですよ、江戸川(乱歩)は自
殺だといふのですよ、僕もわからないのですよ、わからないのです
が、やつは死体をみないで、たゞ自殺だといつていふのですよ、
学者ともあろうものが。

宮田 公平にみて東大の検索の方が科学的にみているのです、僕
は他殺説になつたのですよ、あいつが自殺説をとなえたので……

坂口 なにしろちつとも、現場をみないでいふのだから……

小野 それじや、ひどいね。

坂口 学者じやないね、あれはひどいね。

宮田 最初から自殺にきめておつたね。

久米 あなたは現場へ行つたでしよう、見た瞬間どう感じました?

堀崎 それも申上げかねますね。

久米 そんな馬鹿なことないよ(笑声)。

坂口 見た瞬間に自殺と思つたらしいですね、死体のあれが自殺
らしいですね、飛込自殺らしいのですね、ばらばらになつたところ
など……

久米 どうです?

堀崎 まことに不誠意な話で、どうも……(笑声)われわれは真
重にやつているが、まだ結論を出していないといふふうには御理解願
つておけばいいと思います。

坂口 私もそう思いますよ、他殺でないという、証拠はないです
からね。

堀崎 はじめから結論をきめてやるということは捜査の常道じや
ないのです、われわれは出て来る事実に従つて忠実に行くことがい
いのじやないか、これはどうである……きめてかゝるのがいけな
い、やはりそういう氣持があるとうよつとしたことも解状のしやう
で、右、左へとれるのです。

絶対に死刑だ

坂口 平沢さんについてはどう思っていますか。

久米 紅梅ちゃん、どっち？

市川 私は絶対犯人だと思えますね。

坂口 正しいだろうね。

市川 犯人でなくて、若しあ、いうことをいつていたら、犯人以上に憎むべきだと思いますね。

宮田 全然同感ですね。犯人でなくても死刑にしていよ、実際……（笑声）大下宇陀児がいつていましたよ、公判聞きに行つて、あれは犯人ではないとしても、もう極刑だねといつていましたよ、僕は同感だよ。

小野 実に態度が不愉快で、人間というものじゃないね。

坂口 いつていることが、シドロモドロでなつておらん。

小野 芝居みたいなことをやつて……ね。

坂口 あやしき歌など詠み……ね。

宮田 テンペラの研究というのが、おかしいよ。

久米 堀崎さんどう？

堀崎 あの方は第一審がすんだからなんですが……

坂口 もういゝでしよう。

堀崎 まあ、私は勿論絶対間違いないと思つていますが、そういう感情的な問題でなく、先程申上げた事象の集積から、そういう結論になつていきますね、作つたといつても、あゝ作れるものじゃないですよ、で仮りに荏原、中井、帝銀、板橋、この四つの事件をみても、工作したあとが歴然としてますね。

坂口 これははつきりしていますね。

堀崎 これはみた人もありますね。

宮田 性格的にやりそうだね、しかもテンペラが得意だということとを売り物にするのが、おかしいよ、絵はまずいしね。

坂口 まずいね、実際……

小野 捜査の時はさうかつたさうですね、そつくりなのがいますね、これがしよちゆう刑事におどかされて……手相見だつたが。

坂口 しかし平沢が犯人だといつたのはおれだよ、僕が文芸春秋に書いたのだよ、そしたら新聞記者がおこつてね、あれは犯人であるというように取扱つてもいゝといゝことを書いたのだが……当り前だよ、金の出所がいえないといゝのじや、いくら疑つてもいゝよ。

堀崎 それも平素十万、廿万と金を動かしている人なら、数が多いから忘れたといゝのも判るが、事件の前々日まで千円の金がなくていたのが、翌日になつて急に……

坂口 数日前の犯罪より、自分の容疑の方が大きいのだからね、

だからとて……

久米 あれ、伊東に關係があるかね。

小野 熱海だよ。

坂口 伊東かな。

小野 ラジオもつて行つたといゝのじやない？

堀崎 もつと先ですよ、山の中の温泉ですよ、ラジオもつて行つて聞いていて、その時にも平沢が出ていない時、女中に僕は帝銀の犯人と間違えられてこまると、こぼしているのですよ、まだ写真も出来ないころで、平沢といゝことは全然出ていないのです、そういうことをいゝ必要もないのに……

小野 大変な奴だね、公判をみたが、驚いたよ。

坂口 あれはおかしいよ、あれと氷川丸の上で名刺交換した仙台の助教なんかがいるが、これも色男で、いじめられたさうだよ。

堀崎 あのとときは人相による捜査を全国にひろげましたからね。
坂口 色男は全部やられたらしい。

堀崎 私の方の係長に似ているのがあつたのですよ、それでよく
めの人の顔に似ていますといわれてね(笑声)あの写真の目は或る
警察官の目ですよ、いろいろ方々から借りて来てあります。

小野 しかし、あの人相書はよく出来ましたね。

坂口 あれは色男全般に通じる顔だよ。

堀崎 平仄な顔だけに、捜査としてはやりにくいのです。

坂口 面通しはためですね、信用しない方がいゝね。

堀崎 しかし集計的にみれば、結論は出ているのですよ。

久米 どういうふうによ?

堀崎 一般に少くも心証を与えるだけのものは出ているのです、
まず第一に、そつじやないということというものはないので、
それだけで断定しろというのが無理なんじやないですか、よく似て
いる——でいゝのじやないかと思えますね、あとはわれわれの方の
捜査によつて、他の事実とにらみ合せて行くことですね。

久米 未だに極め手はないのですか。

堀崎 われわれからみれば問題は沢山あるのですよ。

坂口 この座談会で、彼を犯人ときめるのは悪いから、この辺で
よしましよ(笑声)

堀崎 裁判中ですからね。

巡査・ボス・競輪

坂口 堀崎さん現職だからいゝますが、文句をいゝますよ(笑声)

堀崎 結構ですね。

坂口 共産党が地下へ潜つてから奥に荒つぱくなりましたね、僕

ら自動車へ乗っていると、やい、こらツツといつて止めまして、不審
尋問されますが、あれ、やめるようにいつて下さいよ、生意気です
よ、癪にさわつて反感をもつてしようがないですよ。

宮田 人によりますよ、僕に会うと、失礼しましたというです
乗客に挨拶するのは当り前だと思ひますが、するのと、しないの
が違いますね。

堀崎 礼をつくして訊くことは訊き、然るのちになにもなかつた
ら、大變御迷惑をかけたといつて、帰つて貰うと、そうするこ
とによつて、理解を深めて、今後よくなるというやうな指導方針で
やつているのですが、やはり大勢のなかには……

宮田 あれは個人差ですよ、最初止めて、ちよつと失礼しますと
いつて、運転手を調べて……

久米 その話に関連して、僕の事件があるよ。

堀崎 久米さん、あの事件は別座敷にしましよ(笑声)

坂口 あれは久米さん悪いよ、あゝ、いゝように書いたらいけない
よ。

堀崎 あれは別座敷(笑声)

久米 君たち僕がなんか悪いよな条件にあつたと思つてゐるだ
らう、そんなことはないよ。

坂口 文章の書き方が下手なんだね。

久米 下手だつていゝのは……

坂口 あんなふうにいゝたら、文士が如何にも生意気で、特権階
級みたいで、変ですよ。

久米 それを刺戟したのじやないか。

坂口 人はいゝがどうもあんたは……

宮田 林(房雄)君にもいわれておつたね。

久米 僕以外は全部敵だよ(笑声)これは一つのあれで……あと

でどう、こういうことはないが……

宮田 あれはいけないよ。

(註 昨年某誌に久米氏は民主警察に「物申す」の一文を發表した
坂口 頼みたいことがあるのですよ、地方のボスを退治(たいぢ)するような
ことは、考えて頂けないですかね。)

堀崎 あとでよく私承(ちか)つて、直接の仕事でありませんが、知つて
いる限り説明し、承(ちか)つて、それぞれ御相談(ごさうだん)しましょう。

坂口 この間、四日間競輪(けいりん)をみたのですよ、伊東競輪をね、全部
八百長(やっぺい)ですよ。

堀崎 むしろそういつた面は、私の方で承(ちか)つておきたい面が沢山
あるのですよ、雑誌(ざっし)の記事にするのはなんですから、一応(いちおう)そのお話
をして、あとで本当のところを、いろいろ承(ちか)つて……

坂口 四日間見ましたが、どうしても駄目(だめ)ですね、地方の巡査(じゆんさ)な
んてのは、当てにならないのですからね、ボスというものに問題(もんたい)に
ならないですね、それで、僕は毎日行つていましてしよう、すると僕
のところへ来るのですよ、警察の人が、そしてこれは八百長(やっぺい)じゃあ
りませんということの説明に来るのですよ、そんなことをいつても
すべて判(わか)るのですよ。

堀崎 警察(けいさつ)もあれがために警察官を増(ま)さなければならぬ、もつ
と兇悪(きようあく)犯罪(はんざい)の予防検挙(よぼうけんきょ)に重点(じゆうてん)をおかなければならぬのですよ。

小野 もつと大事なことがあるのですね。

堀崎 そうかといつて暴(は)れる、火(ひ)をつけたといつて、ほつておけ
ませんし、あれが無駄(むだ)が多いですね。

久米 あれは、もつが悪い。

小野 フランスの競輪(けいりん)はい、ものですよつてね。

宮田 第一、銭賭(ぜんだ)けないからね。

宮田 お互(たがひ)い同志(どうし)やつていながら、車券(くるまけん)なんてものはない、競馬(けいば)だ

けたよ、競馬(けいば)と大(お)だけだよ。

坂口 銭賭(ぜんだ)けても面白い(おもしろ)じやありませんか。

久米 賭(か)ける方がい、よ、賭(か)ける方がい、し、行くやつはバクチ
をするつもり(つもり)ですと、い、よ。

坂口 碁(ご)の世界選手権大会(せかいせんしゅけんたいかい)をやつて、賭(か)けるといふのだよ、これ
もい、ね、しかしこれは、はつきりしているよ、儲(た)からないから、
よしなさいといふのですが、やるそうだ、本当に日本棋院(にっぽんきいん)で計画(けいかく)し
ているそうだ。

宮田 券売(けんばい)るのですか。

坂口 うん。

久米 ベースボールはやめたよ、野球(やきゅう)は。

坂口 日本(にっぽん)は藤沢(ふじさわ)か誰(たれ)か、支那(しな)は吳清源(ごせいげん)、ドイツはジユウバル、
アメリカはなんとかい奴(やつ)、四人(よにん)でやるというのです。

小野 碁将棋(ごしょうぎ)は神聖(しんせい)にしたいね。

坂口 それは面白い(おもしろ)ですよ、やるならやつてもい、が、賭(か)金が面
白(面白)くないからね。

小野 将棋(しょうぎ)なんてものは風流(ふうりゅう)ですよ、風流(ふうりゅう)人(ひと)ですよ、金儲(かねた)けでな
いよ、風流(ふうりゅう)は、勝負(しょうぶ)になつちやいけけないと思(おも)いますね、競輪(けいりん)はし
ようがないね。

久米 競輪(けいりん)は廃止(はいし)論(ろん)か？

坂口 いや、廃止(はいし)じやないよ。

久米 あ、い、うものは、なくちやいけくないよ。

小野 結局(けつこく)販(はん)やかなものはあつた方がい、よ。

堀崎 出発(しゅつぱつ)の時期(じき)が愚(おろ)かったのじやないかな、平(へい)静(せい)なときに、訓
練(れん)されて行(い)けばよかつたのですね。

宮田 僕は訓練(けんれん)の足りないうちに大(お)事件(じけん)が起(お)きたといふ感じ(かんじ)がし
ますね。

坂口 予想屋が入つて来るのがいけないね、主催者が予想屋のもつてゐるより完璧な資料を提供するのだね、どこの競輪場でもこの選手を何着出したというのを十以上出すのですよ、予想屋はそれ以上知らないのだから、そうすると伊東温泉の温泉客が楽に車券買えますよ。

宮田 とにかく、もう少し血眼にならない方がいいですね、日本人の癖かな。

坂口 伊東競輪は主催者が血眼なんだよ、伊東市がね、見物が来てないものだからね(笑声)

宮田 見物が無いの？

坂口 前のレースが終ると、車券売つていきますから、お買い下さいい〜と叫びつづけですよ(笑声)

小野 僕は競輪というものは洒落でないといけない、洒落本だよ(労働者が来て、あしたの金に困るといつてやる、あれがいやなんだ)。

宮田 生活費でやるものじゃないよ。

小野 それがいやなんだよ。

坂口 遊びなんだ。

小野 汗ふいて来たやつが、日曜日に遊ぶといつて文句いわないで、やつて来ればいいのだ。

堀崎 もとくする金ならいいですね。

宮田 バリでは久米さんと一緒に行つたが中に広場があつて、そこが安くなつてゐるのだ、五フランだよ。

小野 それなんだよね。

坂口 しかし入体のシステムは小遣でやるように出来てゐるので、生活費を賭ける奴が出て勝手にやるのだからかまわない。

宮田 そして安全だね、僕は金がない時は五フランで、馬券も五

フラン、当時五フランは四十銭だから、五円もつてゐると一応遊ぶからかね、そうしてゐるうちなんか大穴が出て、ひどく当てるのが二人いたが、オー〜といつて、他の奴が拍手して、当つた奴も実にニコ〜してね、いゝ風景で、ちつともこわくないのです、日本だつたら大穴だつたらこわいね。

久米 ワーツと動いて行くかも知れないね。

市川 私も、あれ好きですが、競輪の方はきらいですわ、あんな気がきかないなりはないですね、挨拶するでしょう、温室みたいなところから出て来て、とても情なくなつちやうですよ。

宮田 誓ひみたいなことをやるでしょう、軍国主義を思い出してね。

堀崎 競馬の方が、品がいゝですね。

久米 競輪は民衆的でいゝね、僕は大好きです。

宮田 日本人はセシモニーが下手だね、もつと明るいセシモニー出来ると思ひますね、演出が悪いよ。

坂口 手を振らないからね、奴らは……

久米 競輪廃止したら、ずい分淋しいね。

宮田 廃止論じゃないよ。

市川 やる前に、皆におじぎさせたりするあれ妙ね。

久米 芝居じゃないものね。

市川 そうでなく悠々と、わざとらしくないようにしたらいいの、はじめになんか読まれたらいやになつちやつたの。

坂口 敢闘することを誓うとかね(笑声)

小野 まるで特攻隊だね、あれはいけないよ。

宮田 僕は感想をきかれたら、全然いかんといつておいたがね、勝つと花輪もつて行くのが、この位の赤いおべべ着たお嬢さんだろう、外国人が来たわけじゃないし気のきいた女優でも使えといつて

いるのだよ、それから四方拝みたいに、あちこちおじぎするでしょ
こいやんなつちやうね、セレモニー下手だよ、こんなセレモニー下
手な奴はないよ、演出をスマートにやるとスマートに行くよ。

久米 大体あんなの、皆がみていて、花なんか貰つても喜ばない
ですよ。

小野 とにかく料(りょう)にしなければならぬ、家も殺(ころ)はつとして、
コンクリートだけのものじゃいけないよ、色彩(しき)使(つか)つて、旗(はた)を立て、
楽隊(がくたい)でもやつて……ね。

堀崎 そういう雰囲気(ふんいき)にも関係(かんけい)があるでしょうね。

小野 予想屋(よそうや)が入(い)口(ぐち)で、さあさあ、これをお買(か)いなさいといつて
怒鳴(いか)つているのは、いかんね、音楽(おんがく)で、静(しず)かに入(い)つて恋人(こいびと)と一緒に
一日(いちにち)遊(あそ)ぼうというものだよ。

坂口 伊東競輪(いとうけいりん)で大悶着(おほんじやく)おきてひどかつたですよ、東京(とうきょう)ならば大
事件(じけん)だつたね、着順(ちやくじゆん)が写真判定(しやしんはんじやう)になつてやつたが縞(ま)の模様(もやう)が逆(さか)に出
て来(き)ないんだ、一着(いちしやく)、二着(にしやく)、三着(さんしやく)、みな縞(ま)なんだよ、色(いろ)がないもの
だから、着順(ちやくじゆん)間違(まちが)えたの……(笑声)

小野 白黒(しろくろ)じゃわからないね。

坂口 見せたら顔(かほ)が違(ちが)うというので間違(まちが)つたことが判(は)つたのです
さあ、今度は大騒(おほさわ)ぎになつたですよ。

小野 それは大變(おほへん)だね。

坂口 面白(おもしろ)かつたよ。

小野 天然色(てんぜんしき)でやらなければいけないね。

坂口 判(は)らないのだよ、ところが騒(さわ)げないのだ、周(しゅう)りに三人位(さんにんくらい)
かいないものだから、騒(さわ)げばわかるからね、聲音(こゑ)の数(かず)と見物(見物)人と同
じ位の数(かず)なんです。

堀崎 それじゃ大して儲(たく)からないですよ。

坂口 それで大穴(おほあな)が出るのですよ、面白(おもしろ)いですよ、却(かえ)つて小さい

ところが大穴(おほあな)出るらしいよ、つまりだれも買(か)わないところを一つ買
えばいいのだから……

小野 競輪(けいりん)はなくしちやいけないと思うね。

坂口 楽しいね。

久米 とにかくイギリスの、あれだけ保守的(ほしゆてき)な労働党(ろうどうとう)が週末(しゅうまつ)には
必ず競犬(けいけん)をやるんだからね、それは勿論(もちろん)賭(か)けないのですよ、つまり
僕は競輪(けいりん)のなにかいけないかといつたら乗(の)つている人がいけないと
思いますね、人(ひと)に対する不信(ふしん)用(よう)、君(きみ)みたいな(小野氏(おののうぢ)に)不信(ふしん)用(よう)
がない人(ひと)だけだつたらいいが……労働党(ろうどうとう)なんか、必ず週末(しゅうまつ)にロンドン
でクレーシング(クレーシング)というものを、ちやんとやるのだよ、つまり競馬(けいば)に
行(い)けない奴(やつ)が五十銭(ごじせん)一円(いちえん)というのを賭(か)けるやつなんだ。

宮田 おまけに夜(よ)だからね。

久米 い、ね。

宮田 夜(よ)で、電氣(でんき)で照(あ)り明(あ)して……

堀崎 犬(いぬ)のところだけ？

宮田 見物席(見物席)も電氣(でんき)ついていますがね、芝生(しば)ですから……

小野 ドックレース、どうしてやらないかと思うですね、東京都
知事(ちじ)が許(ゆる)さないのかね。

宮田 犬(いぬ)がでないだろう、グレイハウンド(グレイハウンド)のこんなのばかりだから。

小野 駄犬(だけん)でい、よ、面白(おもしろ)いよ。

堀崎 途中(ちゆうちゆう)で帰(かえ)つて来(き)たり(笑声)

小野 優秀犬(ゆうしゆうけん)はいけないよ。

宮田 兎(うさぎ)の白線(しろせん)が走るのだからそれがあれば駄犬(だけん)でも追(お)うだろう
ね。

小野 人間(にんげん)がやるから問題(問題)が起きるのだが、犬(いぬ)にやつて貰(か)つてね。

宮田 夜(よ)だからい、ね。

小野 今の競輪(けいりん)をみなドックレース(ドックレース)にしたいね。

久米 もと〜考えれば、そんなに文句まぐいつて騒動さわどうにまでするこ
とはないですよ。

場末のゲイジユツ

小野 久米先生、ストリップ・ガールね、またハデにやつて、事件じけん起おこしていますね、あれは刑法からいうと、猥褻物公然陳列罪わいせつぶつこうぜんちんれつざいですか
ー(笑声)おれも聞いて笑つたね、猥褻物公然陳列罪わいせつぶつこうぜんちんれつざいですよ。

(堀崎氏に)

堀崎 私は、殺人強盗専門ですから(笑声)

坂口 大したことはないよ。

久米 あんなの文句まぐいうところもなにもないよ。

坂口 あつた方がいゝよ、あれはたゞ、今日本のは真中まなかにあるか
らいけないよ、あんなものは場末にもつて行くべきだね。

堀崎 廊りやうみたいにして。

久米 廊りやうでなく、それじゃいけない。

堀崎 私は警察けいさつ的な考えですがね、すぐやはり事故じこのないように
考えますからね、なかく裸はだかになれないですね。

坂口 今にそうなりますよ、十年もたてば、ほつておけばそうな
るよ。

小野 結構けつこう面白おもしろいよ、坂口さんごらんになつたことある？

坂口 見たよ。

小野 楽しいね。

宮田 小野ちゃん、裸はだかすきだからね(笑声)。

久米 なんて、あれに猥褻わいせつ感かんを感じるかというのだ。

坂口 見物けんぶつ人がすごいのですよ。フイツと溜息ためいき一つもうなないで
すよ。

小野 紅梅こうばいさん見たことありますか。

市川 え、相当見ます。

小野 あなたが見ても面白おもしろいでしょう。

市川 この頃いまごろ非常にうまい人と体のきれいな人が出て来ましたね
はじめはこんなかと思う位くらいでしたね。

宮田 体のきれいなということが第一だいいちですね、ダブだぶくしたのが出
て来るとガツカリするね。

坂口 美術品びじゆつひんだからね。

宮田 パール浜田はまたはい、ね(笑声)

小野 おれも鼻屑はなぢだよ、作品だよ。

久米 ストリップというのは、あれ見て、したいというき気が起おき
る？

小野 起おらないよ、あれはやはり一つの……

久米 そういいう階級かいきゆうがあるのかな。

小野 それが問題もんだいなんだよ。

久米 こうやつて、ジフと腕うでをくんで目をすえるちやう恰好ちやうをする、み
ている(笑声)サラリーマンとか。

小野 学生がくせいとか。

堀崎 一番いちばん大きな層そうのところはどういう影響えいきやうがあるか？

久米 あるのかねエ。

宮田 僕は伴ともと行くが、問題もんだいにならないよ、美術学校びじゆつがっこうで裸はだかばかり
描かいているんだから、親子おやこで、いゝ体ていだなあいつて感心かんしんしている
からね。

坂口 少しも嘆なげくべきところじゃないですね、自然しぜんに下火げかになつ
て行くよ、日本人にほんじんが悪いのですよ。他の芸人げいじんが下手うしろだつたから駄目
なんですよ、芸術家げいじゆつかがうまくなれば場末ばまへへ行くよ。

小野 それはその通りだよ。

久米 西洋のラインダンスはあの程度だからね。

坂口 中央でやるということが大変なんだよ、だから実際僕は文学でもそうだよ、チャタレイがどうのこうのといっているが、僕はいいと思うね、支那の猥本やなんかのさばるのは、僕らがのさばらせるからだね、僕らがいゝ作品を書けば、あんなものは場末へ行くよ、場末へ行つたら禁止しなければいい、禁止したらいけない。

久米 その場限りの興奮じやないかね。

坂口 禁止しちやいけないね、禁止するより僕らに、いゝものを書けといつた方が大事ですね、それは僕らの責任だよ。

宮田 レビューだつて大豪華レビューやつたら、ストリップなんて馬鹿々々しくて行けない。

小野 宮田さん知つてているが、われゝ裸をみていますね、モデルとあれとは違うね、ものをつけなくちやいけないという警視庁の命令は、あれはものをつけてもつけなくても同じですよ。

久米 つけた方がいゝ？

小野 エロになつてしまふね。

坂口 汚くてもみちやおれないよ、オツパイ小僧なんて、あのオツパイをいゝといつた絵描きには、あきれたね。

小野 バランスのとれない体でひどいね。

坂口 美しくもなんともない、ところが一番代表的な權威がさういふことをいゝと見に来るからね。

チャタレイ夫人と性欲

久米 大体それほどのことはないのだがね、チャタレイを読んで立つといつてゐるのだがね、裁判官は。

坂口 立ちますよ。

宮田 僕は立ちますね・チャタレイの方が立ちますよ。

久米 よそへ行つて、する気になる？

宮田 ならないよ。

久米 その問題だよ。

小野 チャタレイのさわりを讀むと、おれもワクワクする、それを本を閉じる、例えば女学生が讀んだとする、或は……

坂口 あそこをみるとワクワクするよ。

久米 その時、恋人が来て、ちよつとしましよつかいいうか知らぬそれが問題だがね。

小野 それはどうか。

久米 いや、これは微妙だよ。

小野 チャタレイの本を讀んだら、恋人が来て、おいでといつてその女が恋人にやらず、これはチャタレイの問題じやないよ、他の意味で讀んでも同じだよ。

宮田 チャタレイが刺戟になることは絶対認めるよ、一番にこのことは反対するね、あれを芸術だからといふことは反対ですよ。

久米 どういうわけ？

宮田 そんなことをいつたら春信でも芸術だからね、あれを一般公開したらいゝといつたらいけないでしよう。

小野 絵からいつたら、歌麿なんか發行出来ないね。

坂口 常識を高めるために、ザラに出しておいて、その中から選ばれるというのが大事だよ。

堀崎 選び得ないで悪い方に動く人があるのですよ、現実問題として……

坂口 極く少数ですよ。

久米 パーセンテージほどの位ですか？

堀崎 パーセントを出す方法を知らないが……

久米 知らないということはないよ。

坂口 その何十倍という人が買いますよ。

堀崎 パーセンテージは兎も角だが今いつた影響する層と、その結果がどうなつて来るか、今仰言やる方向に進めば一番いゝでしようね、現実問題がどうかではないかということですね。

坂口 フランスは完全に禁禁というものはないのでね。

堀崎 同じものでも、都会と農村と違いますね、その問題がいろいろあると思いますね。

宮田 フランスも知つてゐるがフランスみたいに行くまでの弊害が日本では大きいと思ひますよ。

坂口 誇大広告として取締ればいゝのですよ。

久米 猥褻罪……

宮田 猥褻文書と認めてなんとかということとは問題だが。

坂口 猥褻文書じゃないですよ。猥褻文書はもつとあるからね、あれ一つだけいゝつちや。

久米 あれはしかし本当にいろいろ教えているところがあるよ。

坂口 役に立つ人があるのですよ、だから僕は……

堀崎 層をきめてそのクラスの人はこうときめるといゝですね。

小野 それは出来ない、本を出す以上は。

宮田 フランスは自からそうなつてゐるからいゝといふのですよ。日本は競輪みても、なにをみても駄目だから、現状では発売はだめだといふのですよ。

坂口 宮田さんは娘の父だからさういふことをいふのだがね。

久米 千ヤタレイ夫人というものがむつかしいよ、あれ正確に解釈してゐるかね。

小野 ちゃんとした芸術品ですよ、そこまでの段取りが面白いですよ。

坂口 あそこ削つても芸術品だね、芸術品だから買つてゐるのだよ。

宮田 十五万というのは猥褻を目的として買ったのが多いということを知つたね。

久米 性欲というものは……

宮田 性欲にもつて行つたらいけないですよ。

坂口 ほつておいたら誰も買わないよ。

宮田 そこをいふのだよ、それがいけない。

小野 千ヤタレイでなくても別の本でもあるよ、それは売れないよ。

宮田 出す前に処理すべき問題だね。

坂口 僕は出版しても、かまわんと思ひますよ、あゝ、いゝことをいゝことがおかしいね。

久米 微妙な線だね。

小野 千ヤタレイという本が出ると、左文みたいなのが現われるといふ、あゝ、いゝ関係をつけることがいけないね、それを警察で、あゝ、いゝ本が出るから若い層の悪筆の数がふえるといふようなことをいゝから……

宮田 紅梅ちゃん、読んだかいさどうだつた？

市川 面白かつた。

宮田 うまいね、にげたね（笑声）

久米 面白いよ、ちゃんとした小説だから。

堀崎 私は読んでないのですよ。

久米 読みなさいよ。

堀崎 なかく手にも入りませんしね、たゞ私が女の殺された事件を扱つていますが、その最初、捜査するまでに沢山の犠牲者があるのです、外に知られないものは、驚くべきものです、しかも

動機はどこにあつたかということを考えてと非常に考えさせられることがあるんですね。

坂口 僕は犯罪といふものを考えて、悪質と良質というとおかしだが、質が二つあると思いますね。

久米 善悪と悪悪だけですね。

坂口 例えば小平みたいな、これは許すべからざる犯罪ですね。

堀崎 あれは個性が多分にある。あれは真似しろといつても出来ないですね。

久米 樋口だつたら同情するからね、少女をつれて行つたあれね。

堀崎 あれは私が関係しましたがね、あれも前からあゝいうことをやつていた。

宮田 変質者でしょう。

堀崎 前科者ですよ、まあしかし被害者の親きょうだいになつてみると、非常に深刻な問題で、一がいに議論するわけにいかんと思えますよ、私はそこまで考えなければならぬのじやないかと思えますね。

坂口 田舎に行くと、暴行村とか、沢山ありますね、北海道でもどこでも……

小野 発売禁止というが、新聞ですよ、このがあつたね、浦和の強姦村ね、強姦村なんてことは新聞に書くことはないよ。

坂口 盛岡でも、方々にあるのだよ。

小野 新聞にもいろいろの出るね、千ヤタレイ以上の面白さだよ、そのなかでも浦和の強姦村、これがトップですよ、おれの家の子供もみるんだかう弱るよ。

坂口 中間にある村が全部強姦しているのだよ。

小野 学校の先生もみんなやつて……

宮田 すこいね！

小野 この記事の方が、ずつとこわいよ、千ヤタレイより……千ヤタレイ読むのは、楽しいがね、文学だから……

久米 運命を拓こうとしている必死な狙いがあるが、僕は決してあれを読んで悪になるやつもあるかも知れませんが、あれを読んで幸福になるのがありますよ、日本の夫婦生活はね。

小野 多いと思うね、救われるやつの方が多いと思うね。

堀崎 夫婦者が読んだら、喧嘩なんということはないがね。

坂口 誇大広告として取締るべきですね、決して本として取締つちやいかんのじやないですか。

堀崎 私はその点は関係がちがうから、畑ちがいでね、私のやつて居た仕事は、誰もいゝと仰しやることはないと思います、殺人強盗なんてものは……

久米 あゝ、いう場合にも三分の理ということはありませんかね。

堀崎 三分の理というよりも、そこまで来る過程で非常に涙の出るようなものもありますね、何回も聞いてると非常に気の毒だね、そういうのがありますね、いろいろ変質的なものをもつていゝ人がやつたのと、正常な性格もつた人が、どつにもならずして、やらざるを得なかつたという事件もあるわけです、そういう時にいろいろその家庭には考えさせるものがありますね、いろいろなふうにものをいゝたいと思うようなこともありますね。

久米 じゃあこの辺で……

——福岡女子大学助教——